

長崎倶楽部

No.57

2019.7.25

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 <https://nagasaki-kc.org/> 発行人/山内 賢明

目次

● 巻頭インタビュー 48 / 荒木三郎	1	● 新任理事ご挨拶 / 神田健一・万谷正・岸川悟・大滝理恵子	12
● 講演会 / 馬英華	6	● TOPICS	13
● イベント予告	9	● 新人会員自己紹介・おくやみ	18
● ひと / 本田和人	10	● 書籍紹介	20
● ESSAY / 糸瀬敬一	11	● 私の趣味 / 柚原治美	21

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー

48

私と長崎

荒木三郎

三菱UFJ
モルガン・
スタンレー
証券社長

座右の銘「不易流行」を踏まえて守るべきは断固守り
変えるべきは素早く決然として挑戦し経営戦略を実行



荒木社長が昨年4月に就任して1年3カ月余。激動する国際経済・金融証券市場を今後如何に乗り切るか、試練は続く。

そんな中、気負いなく豪快にしてざつとばらんに子供時代や父親のこと、そして経営戦略から趣味の話まで、縦横に語っていたのだ。

明るく人柄が滲みでる楽しい愉快な話ぶり。令和時代の幕開けに相応しい印象に残るインタビューでした。

(聞き手：県人クラブ常務理事 牧山康敏
同理事 木下通人 撮影：井口尚美さん)

◆◆◆
「課題山積」と振り返る
社長就任1年の感想

——2018年4月の社長就任から1年余り。この1年を振り返ってのご感想は。

荒木社長 課題山積です。利益は対前年度比40%強の減益。半分近く減ったということです。大手証券会社は軒並み減益ですが、そうはいっても許されるものではない。経済環境がよろしくない、世の中が大きく変化している、そういう中での就任で、課題が山積している状況です。

——課題があるということはある意味ではやり甲斐もあるのでは。

荒木社長 うまく克服できればそうですね。



◆ ◆ ◆ 生まれは東彼杵郡川棚町 3歳の時に大村市に移転

——会社のことは後段で詳しくお聞きします。ところでご出身は大村市ですか。

荒木社長 大村市ではなく東彼杵郡川棚町の生まれです。私の親父は高校で英語の先生をしておりまして、私が生まれた当時は長崎県立川棚高校の先生でした。3歳の時に県立大村高校に転勤になり、大村市に移りました。玖島城（大村城）の直ぐ下の官舎です。3歳から18歳までここで過ごしました。ところがこの官舎、「お城の景観を壊す」との苦情が出て40年位前に取り壊されています。今ではきれいに整地されて大村公園の一角となっていますよ。

◆ ◆ ◆ 父は高校の先生で厳しく テレビは押し入れの中に

——子供の頃の思い出はどう

ですか。

荒木社長 僕は人見知りでおとなしい子供でした。5人兄弟で兄2人、姉1人、それに妹1人。僕は4番目で3男です。名前も長男が一郎、次男が二郎、そして僕が三郎です。どうでもいいといえはどうでもよかったのかな、と（笑い）。あまりかまってもうえなかった。それでも真面目でしたよ。親父は厳しかったですね。毎日、怒鳴られてばかりで「良い思い出なし!」。漫画やテレビのプロレス中継など見たいものを見せてくれない。テレビなどは押し入れに仕舞い込んでやうんですから。でも学校の先生だから国語や算数など良く教えてくれて、教育熱心だった。そういうところは立派でした。

◆ ◆ ◆ 病弱でも勉強は真面目に 中高では部活も直ぐ退部

——そんなお父さんの厳しい教育・躾はその後の人生に良い影響を与えましたか？

荒木社長

とにかく親父はお酒が大好き。言葉は悪いが「大酒飲み」です。学校から帰ってくるお酒を飲んで怒鳴りまくる。その上、ヘビースモーカー。だから僕は小学生の時は喘息になってしまった。病弱で、学校に行くか、病院に行くかでしたよ。スポーツもしなかった。勉強ばかりしていた。そのためか小学・中学・高校時代はずっと級長（クラス委員長）をやっていましたね。

——それでは中学、高校時代はクラブ活動はなしですか。

荒木社長 いえ、中学ではサッカー部に入りました。でも球拾いばかりでレギュラーにはなれそうもなくてすぐに止めました。高校時代はバレーボール部に入りましたが、こちらも同じ理由で止めました。マラソン大会も中学・高校ともビリから2番目でダメ。運動オンチでした。

——中学、高校で印象に残る先生は。
荒木社長 （即座に）特にいませ

ん。強いて言えばうちの親父ぐらいかな。高校時代、担任の先生が用事で休むと、代わりに親父が来て教えることがある。わざと難しい質問をして僕を指名する。答えられないと立たされる。これが嫌で恥ずかしかったですよ。僕だけじゃなくて他の生徒も答えられないと立たせる。授業が終わると「お前の親父には参るよ!」と仲間に責められたりして、こちらが参りましたよ。

——今となつては逆に良い思い出ですね。

荒木社長 高校3年の時、親父が大村高校から対馬の豊玉高校に転勤になりました。それで僕と妹は対馬には行かず大村に残ることになりました。自炊生活でしたが、この1年間は親父に怒鳴られることもなく一番楽しかったですね。

◆ ◆ ◆ 東大入学は兄2人に続く アルバイトに明け暮れて

——高校を出て東京大学法学部を目指されますが、どんな目的だったのですか。

荒木社長 兄貴2人が東大に入っていますので、必然的に僕も行くことに。僕だけ他に行くわけにはいきません。ただ高校3年の時に親父から解放されて気

が緩んで勉強が疎かになり、結局一浪して入りました。浪人の時はそれこそ必死に勉強しましたね。それで兄2人に続いて入学出来ました。

——東大法学部時代に特に勉強したことはどの分野ですか。

荒木社長 いやあ、それを聞かないでよ（笑い）。3年間はほとんど勉強していないんだから。アルバイトに追われて勉強どころじゃなかったですよ。僕ら兄弟5人でしょう。親父の給料は安いし、仕送りも少なかった。悪友との遊興費にもだいぶ使ったかな。いい加減な学生ですよ（笑い）。

◆ ◆ ◆ 卒業後は三菱銀行に入行 最初の支店は横浜駅前

——「いい加減」では東大法学部は卒業できないでしょう。卒業後は三菱銀行（現三菱UFJ銀行）に入行されますが、その動機は何でしたか。

荒木社長 当時は東大法学部を卒業すると、官僚など役人になるか、弁護士になるかでした。民間では当時銀行のステータスが高かった。大手銀行は安定しているし給料も高いということが入りました。長崎には三菱造船所があつて三菱にはゆかりがあり馴れ親しんでいたのですそれ

も大きな動機でした。長崎市高島町には「三菱」創業者の岩崎彌太郎さんの銅像もありますね。

◆◆◆ 最初の横浜駅前支店では4千万円の融資焦げ付く

——三菱銀行入行後、最初の配属先はどこですか。

荒木社長 最初に配属されたのが横浜駅前支店でした。最初は預金集めの仕事でした。2年目ごろから企業や個人の融資担当になりました。最初に手掛けた仕事は個人への4千万円の融資でした。凄いい金持ちの息子さんでしたが、何か事業をやるというので4千万円の融資を決めたわけです。ところがこの男、半年後ぐらいに失踪し、いなくなってしまう。初めて手掛けた融資が焦げ付いてしまい、大問題となりました。

——とんだ災難でしたね。

荒木社長 その男は遊び人で、とんだ「食わせモン」でした。課長はこの責任を取らされ、支店長は厳重注意に。僕は「お前は新人だから大目に見て不問だ」となりまして。融資先の男は高級時計や立派な洋服を着ていました。その時、課長が言った言葉を今も鮮明に覚えてます。曰く「人は外見で判断してはいけない。中身だ」と。この苦い

経験、この言葉を肝に銘じて人を見極めるように心がけています。

◆◆◆ 有楽町支店の3億円強奪事件であらぬ嫌疑も

——「人は外見でなく中身が肝心」とは貴重な言葉ですね。

荒木社長 今度は有楽町支店勤務です。ところがこの支店でも事件に巻き込まれてしまいました。当時世間を騒がせた、1986年（昭和61年）11月に三菱銀行有楽町支店で発生した「有楽町3億円事件」です。当日の朝、遅刻ギリギリに支店に着くと大勢の人だかりができて大騒ぎになっていました。何事かと聞いてみると、この朝、有楽町支店の現金輸送車が強盗に襲われ3億円が強奪されたという。警察は内部事情に詳しいものの仕業とみて捜査したのです。実は僕はこの事件の半年ぐらい前に多額の借金をしてマンションを購入していました。そこで私に嫌疑がかけられ、一番に取り調べられたのです。銀行の預金通帳などを調べていたんですね。若いのにこんな借金をして怪しいと踏んだのでしよう。結局、この事件はフランス人強盗グループが犯人ということが後で判明し、犯人

は逮捕され、私の嫌疑も晴れたわけです（笑）。

◆◆◆ M-I-Tに留学中に驚く！三菱―東銀の合併報道

——とんだ濡れ衣でしたね。

アメリカに留学もされたそうですが。

荒木社長 1995年3月から1年間、ボストンにあるMIT（マサチューセッツ工科大学）に留学しました。30代のビジネスマンが勉強するコースです。直後の1995年3月末に日本経済新聞1面に「三菱銀行と東京銀行が合併」と大きく報道されたのには大変びっくりしましたね。翌年留学を終えて帰国し、両行合併直後の東京三菱銀行の企画部に戻ってきました。合併に伴う残務課題の整理が主な仕事です。両行とも生い立ちが違っているので社内文書の書式一つとっても異なる。例えば社内文書で年号表示をどうするかなどの問題がありました。三菱は昭和、

平成と元号で表示していました。が、東京銀行は全て西暦です。どうでもいいことですが、これをどちらにするかでもめにもめましてね。それでどうしたかというと「元号と西暦の両方を書く」ことに落ち着きました。社風が違ふと大変なことがあるものです。その内に東京銀行出身の男性と三菱銀行出身の女性が職場内結婚して、これで大変盛り上がり友好ムードが広がりました。

◆◆◆ UFJと合併後に人事部長360度評価で公平人事

——大銀行の合併融和が両行男女の社内結婚が契機とは。

面白いエピソードですね。更に2006年にはUFJ銀行と合併して社名も三菱東京UFJ銀行に。

荒木社長 両行の合併前に「合併準備室」が設置されて今度はその副室長になりました。私が入社した当時、都銀は13行で

した。それが相次ぐ合併で今では4行に。こうした合併に関わる仕事を2度も担当するとは思いませんでした。合併後に人事部長に就任しましたが、人の評価は難しい。特に合併銀行では合併前のそれぞれの銀行の評価があり、なかなか折り合えない。そこで「360度評価」を取り入れて、いろんな部署の人が皆で人物をよく見て評価し、実力主義で行くことにしました。合併会社では往々にしてタスキ掛け人事などと言われますが、これを出来るだけ早く払拭して実力主義にしないとけない。これには骨が折れましたが、従業員に対して「自分の評価が正しく行われている」ということを伝えることが大事だと思いました。

◆◆◆ ベンチャー企業への支援を通じて日本を担う企業を育成

——その後、三菱東京UFJ銀行執行役員、三菱東京UFJ





銀行や三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)の常務執行役員、三菱東京UFJ銀行常務取締役、同専務取締役、同取締役副頭取などの要職を歴任され、現在はMUFGの取締役代表執行役副会長も兼任されています。この間で特に力を注がれたことは。

荒木社長 私は三菱東京UFJ銀行で法人担当部門長を副頭取として2年間務めました。この間、ベンチャー企業との取引を拡大して、将来の日本を担う企業に道を開くということにグループ全体で一生懸命に取り組みました。日本経済や社会は変化し曲がり角にきています。グローバル競争時代に日本の経済や企業は存在感が薄れ、取り残されつつあるように感じ

ています。それに引き換え米国にはアップルやグーグル、アマゾン、フェイスブックなどが急成長するなど、活力を生む土壌があります。テスラも含めて彼らが会社をつくったのは最近のことです。日本の新興企業では楽天やソフトバンクなど大きくなつたところもありますが、これに続く企業が少なく。そういうところを強くしていくことが日本にとって極めて重要です。そこで米国でベンチャーを育て、支援してきた実績のある企業のノウハウを取り入れてやっていくと、グループ一体で力を注いできました。

——荒木さんが社長を務められる三菱UFJモルガン・スタンレー証券はこれまで多くの合併を繰り返してきましたが、現在の出資比率は。

荒木社長 モルガン・スタンレーが40%、MUFGが60%です。当社の強みのひとつはモルガン・スタンレーのグローバルに対応できる人材とネットワーク、実績です。もうひとつは三菱UFJフィナンシャル・グループの持つ日本最大規模のお客さま基盤です。このお客さま基盤に対して、モルガン・スタンレーのハイスペックなサービスを提供出来ること、これが当社の最大の強みです。

最近では日本企業による海外企業のM&A(企業合併・買収)など、国内外をまたぐ案件も増えてきており、そのお手伝いをしていくのが大きな役目です。証券はM&Aのアドバイザー業務を行い、銀行はM&Aに関わる必要な資金をご融資するなど、MUFG一体となってお客さまを支援していきます。

◆◆◆ グループ内の利益比率 5%を5年後には10%に

——ところでグループ全体に占める御社の利益の比率はどれくらいですか。

荒木社長 純利益で5%です。現在、MUFG全体の純利益が約1兆円ですから、当社は約500億円。5年後には10%を

目指しています。

——荒木社長の経営理念というか座右の銘は何ですか。

荒木社長 4文字熟語で言えば「不易流行」です。これは芭蕉の俳諧における精神でもあります。「不易」は世の中が変化しても変えてはいけないもの、「流行」は世の中の変化に応じて変えていくべきものです。これを見極めるということです。特に昨今のように環境変化の激しい時代にあつて、何を守り、何を大きく変えるのか、これを間違えると大変なことになる。やるべきと思つたら素早く直ちに実行に移すということも大事です。

◆◆◆ 趣味はゴルフが第一 5月連休に4日連続プレー

——ご趣味について伺います。

荒木社長 私の趣味はゴルフです。長崎県にはまだ母親がいるので毎年3〜4回は帰ります。今年5月のゴールデンウィークにも5日間帰省しましたが、内4日間連続でゴルフを思う存分楽しませてもらいました。中学時代の親友で幸運トラックス社長馬場邦彦さんと、長崎自動車社長で大村高校の先輩でもある嶋崎真英さん、帰省するといつてもこのお2人と大村湾カントリー

アイティーアイ株式会社

本社／〒850-0032 長崎市興善町 6-7

☎(095)821-2111 FAX(095)821-2113

営業本部／〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-1-26 博多駅イーストプレイス 4 階 ☎(092)472-1881 FAX(092)472-1882

営業拠点／山口 福岡 北九州 久留米 筑豊 佐賀 長崎 佐世保 五島 熊本 八代 天草 大分

宮崎 都城 延岡 鹿児島 鹿屋 沖縄 沖縄中部 東京 神奈川 埼玉 千葉 茨城 群馬

「倶楽部などでプレーしています。運動オンチが唯一勝てるのはゴルフです」と、プロゴルファ―の上田桃子さんも言っていますよ（笑い）。

天体観測も趣味のひとつです。小学生の時、読書感想文のコンクールで入賞して、賞品に望遠鏡をもらったのがきっかけです。5年生の頃です。当時は大村の空の星はきれいでしたね。流れ星なども大村市陸上競技場のところによく見に行きました。何年か前にドデカイ望遠鏡を買いましたが入りませんが、今は忙しくて見る時間がありません。残念ですが、いつか暇になったらまた星空を観測したいと思っています。

◆ ◆ ◆ 早寝早起きの健康法 縄跳びにも毎朝挑戦

——健康法は如何ですか。

荒木社長 いろいろやっていますが、最近はやりの健康器具を使って腰や足を鍛えています。



あのスキー登山家の三浦雄一郎さんもやっているそうですよ。それから本邦初公開ですが、縄跳びを始めました。早朝に会社で毎日やっています。縄跳びは有酸素運動、全身運動として大変良いそうです。初めてやった時には全身筋肉痛になりました。早寝早起きも健康法です。

夜9時頃には寝て朝は3時半頃に起きます。起きたら朝食をとって一息してから出勤し、6時には会社に来ています。家ではトマトジュースなどのほか妻がいつも作るドロツとした液体も毎朝飲んでいます。

◆ ◆ ◆ 長崎県は歴史遺産や ロケーションを活かせ

——ここで、ふるさと長崎県の活性化についてのお考えをお願いします。

荒木社長 中村法道知事の勉強会に入っていますが、忙しくて今はほとんど参加できなくて大変申し訳なく思っています。以

前、どうすれば長崎県が活性化するか議論もしました。長崎県には歴史遺産が多いです。昨

年には長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産がユネスコの世界遺産に登録されることが決まりましたし、出島やハウステンボスなどの見どころも多いです。また長崎は中国、韓国や東南アジアに近く、ロケーションが良いので、これらの歴史遺産やロケーションを活かしていくと思います。人口減少は長崎だけでなく全国的な課題ですが、大村市についていえば人口が10万人ぐらいに増えているそうですね。長崎県の玄関口として企業誘致も実現しているようで、大村市の園田市長も奮闘されていますね。

◆ ◆ ◆ 若い人は夢の実現目指せ 志を高くしチャレンジを

——最後に故郷長崎の若い人

に励ましのエールをお願いします。

荒木社長 若い人には夢を実現できるチャンスがたくさんあると思う。是非、志を高くもってチャレンジしていただきたい。

——お忙しいところ長時間にわたり大変貴重なお話を有り難うございました。

◇ ◇ ◇ インタビューを終えて

確固として揺ぎない経営視座

とにかく明るくて気さくな人柄だ。豪快にして話をそらさず率直に対応する姿勢は聞く人を惹きつける。国際情勢は日々目まぐるしく激変する。日本経済とりわけ金融証券業界はその波動を最も敏感に受ける。それだけに企業の経営戦略も容易ではない。その点、荒木社長の経営の視座は確固として揺ぎない。ベンチャー企業への支援・育成

を通じた日本経済の復活であり、国境を越えて拡大するM&Aの動きに積極的に対応することなどだ。そのためにモルガン・スタンレーの持つグローバル・リーチを活用すると同時に三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFJ）の総力を結集して対応する戦略を描く。

既にMUFJの大幹部としてその基盤は固めている。今後は如何に効率よく運用して実を上げるかが荒木社長のウデの見せどころである。自身の座右の銘「不易流行」こそ、視線をそらさず話す荒木さんの真骨頂とみた。実務の話にさらりとジョークを織り交ぜてのインタビュー。久し振りの爽快感に満ちた時間であった。父親の厳しい特訓、数十年の時を経て今、大輪の花を咲かせつつある。

（牧山康敏）

荒木三郎氏 三菱UFJモルガン・スタンレー証券社長のプロフィール

生年月日 昭和32年8月6日

出身地 東彼杵郡川棚町

学歴 長崎県立大村高等学校卒業
東京大学法学部卒業

職歴

株式会社三菱東京UFJ銀行（現・三菱UFJ銀行）取締役副頭取執行役員

兼 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社取締役社長 CEO

兼 株式会社三井住友銀行取締役社長

兼 株式会社三井住友銀行取締役代表執行役副会長

現在に至る

平成31年春の講演会

講演日 平成31年3月11日

過酷な中国での幼少期

〜来日し起業そして新生アジアの結成〜

講師

東京エレベーター株式会社代表取締役
新生アジア代表理事
中国弁護士

馬英華氏



日経新聞電子版に女性ビジネスリーダーとして連載

ませんので、他に誰かいい方がいたら、ぜひその人に頼んでくださいという返事を出しました。「いや、ぜひ待たせていただきます」と言われました。もう、逃げられなかったのです。「馬さんを選んだ理由」を言ってくれたのですが、その理由で私は納得して、この仕事を受けました。それがこの本になったのです。総合点で馬さんは一番高かったと言うのです。ほぼ独占状態のエレベーター業界を、競争の業界に切り換えたのが私です。それを非常に高く評価してくれたのです。女性ビジネスマンとしては、最初から会社を立ち上げて、20年以上の実績を持っていること自体珍しいと。エレベーター設備のメンテナンスは油と汗の世界です。

ただいま紹介いただきました馬英華と申します。まあ、ええか(笑)。笑っていただけのですね。2015年に、日経新聞社から、女性ビジネスリーダーとして選ばれたので、電子版に連載を書いてほしいというオファーがありました。東京エレベーターを営しながら、スウェーデンに、長いときは10カ月ぐらい住んでいた時期で、日本に住むかスウェーデンに住むか、迷っていた時期です。

男性のビジネスリーダーは、オックスとか伊藤忠とかそうそうたる人達だったのです。私はこのような大きい社会的な役割は果たせない、やんわり断りました。これから3カ月ぐらい会社に出社し

ては結構いろいろあるのです。そこも書いてほしいというのです。自分がこつちに長く住みながら、中国と日本はもつと仲良くしてほしい、お互いにもつと理解してほしいという思いもありましたのです。だから、私が架け橋になって、もう逃げないで、受けましょうというふうになったのです。

「逃げ切る力」

逆境を生かす考え方

当時の『日経新聞』の記事の中で「ビジネスリーダー」というコーナーに2週間に1回書いていました。読者は、新聞を読む方もいるのですが、電子版のほうに移っているのです。日経新聞では、世界ニュースも含めて、1日800本のニュースを出すのですが、クリック数で1位から50位までしか表示されないのです。

私の記事はクリック数では見事に1位になったのです。そうして、出すたびにクリック数が1番になって、今度は大変。編集専門の方が1人私に付いてしまいました。皆さんからは日経新聞宛てに、「馬

さんの生い立ちを知りたい」というオファーがありました。そこで、私はどこで生まれたか、どういう家庭で育てられたかということも書き始めたのです。

中国時代 母の厳しい躾

昔は、洗濯機はもろくないし、大連は中国の東北部ですから、すごく寒いのです。それでも、この小さい私に川で洗濯をさせたこと自体、今、考えると信じられないことです。しかも、皆さん想像もできないと思いますが、氷の上にひざまずいて、素手で洗いました。何も手袋はないのです。だから、体が冷え性になりました。今もそうです(笑い)。

私は、5歳のときから、自分のことについていろいろ考えるようになりました。というのは、お母さんの口癖ですが「あなたにお金かけたら、土にかけた水と同じだ」と言うのです。親でありながら、私が小さいときから、回収できないということを彼女はずっと考えていたのです。それで、自分がどうしてこんなところに生まれたか。女の子としてどうやって生きていけるかということを考えたのです。

8歳の私が書いた手紙

8歳の私へ。

小麗(小さいときの名前です)、夏の夜、納屋の屋根に登って、空

を見上げたときのことを覚えていますか。2本の大きな木が家庭にあつて、夏は青々としていましたね。屋根から母屋がよく見えしました。あなたは家族が寝静まった頃、屋根に座つて、お星様によく質問をしましたね。「私はなぜ生まれてきたの?」「どうしてお母さんはよく怒るの?」「お父さんはどうしていつも家にいないの?」「なぜ、この二人を親に選んでしまったの?」「お父さんやお母さんに期待されない女の子の私はどのようにしたら生きていけるだろう?」「このまま大人になつたら、誰かのお嫁さんになつて、道端で野菜と果物を売るのかな?」「妹は赤ちゃんだったとき、おなかを空かせてよく泣いていました。その妹を膝の上であやしていましたね。ようやく妹を寝かしつけたあなたは、壁によりかかつて、起こさないように座つたまま寝たことを覚えていますか。どうして8歳の私が3歳の妹の母親代わりにならなければならないの?」それも大きな疑問でしたね。

質問だらけだったけれど、答えてくれる人は誰もいなかった。相談できる人もいなかった。何度泣いたか覚えていないよね。不安だらけだったよね。寂しかったよね。でもね、あなたは女の子として生まれたとしても、この世の誰かがあなたを必要としているよ。自分



には能力と価値が必ずあると考え、ていたあなたに目標ができたね。キツネが出てくるようなこの田舎から脱出して、大きな世界に行く。そこへ行けば、必ず自分の夢を叶えられる。自分を必要としている場所が見つけれられる。見ていてください。今、私は大好きな東京で、20年もエレベーター管理の会社を経営しています。中国とビジネスをしている日本企業の弁護士もしています。大切な家族もできました。

小麗、あなたはよく頑張ったね。よく続けてきたね。8歳のときの夢を叶えられたね。今の私はこれから何をすべきか決めましたよ。国の壁、男女の壁をお友達と一緒に打ち破って、悔いのない生き方を進んでいこう。さらに大きな世界へ行くために。

これは最初の手紙でした。私の人生って、皆さんもそうですね。チャレンジする場面は幾つかありますよね。だから、これから私の

チャレンジの場面を皆さんにシェアをさせていただいて、その中から何かヒントみたいなものを皆さんが見つけれればいいですね。

人生はチャレンジ＋ 勇気＋信念＝魂の成長

もちろん私の人生はチャレンジだけではありませんでした。強運もありました。チャレンジがあつたからこそ強運になるのです。時と場合で、たくさんの素晴らしい方々に助けられることが結構ありました。今もそうです。人生はチャレンジ＋勇気＋信念＝魂の成長。

これは一つのチャレンジの場面ですがけれども、中学校に入ってから、私は自分の地元では、高校に進学できない。今までに進学した人はいないのです。私は女の子だけれども、でも、自分が努力していれば、弟よりはもっと立派な人間になるんだと、親に見せたかったのです。あとは、私は女の子として価値がないとずっとお母さんに言われたのですが、でも、価値があるのだよということも自分に見せたかったですね。それもあって、大きい世界に行くというのは、今頃考えると東京ですね。東京大好き(笑い)。だから、こつちに長くいるのです。皆さんにもお会いできています。

中学校のときに転校をして、自

転車で片道2時間半ぐらいの道のりを3年間も通いました。親から、あなたはお金がかかるから、学校をやめなさいといわれていました。学校をやめると、私は結局生きられないと思いました。というのは、あのような環境の中で耐えきれないのです。皆さんに詳しいことは、今ではもう私の口からは言えませんが、この本を読んでくれれば、わかつてくれると思うのですが、自分がこの家にいたら、もう生きられないというのは、小さいときから自分でわかつたのです。

自分が外に行くのは勉強しかないと思つたのです。それも、はつきりしたので、この「学校をやめなさい」ということになる、私にとつてはもう生きるか死ぬかの問題ですね。だから、ずっと親ののしりとかがあつたのです。それをずっと我慢していたのですが、最後は、もう我慢し切れなくて、小さいなりにいろいろ対策を考えました。

ある日曜日、たまたま父親も家に帰っていた頃で、私は殴られる覚悟で、二人の親に、もし、私に学校をやめさせるのであれば、昔は、中国は毛沢東＝法律ね。毛沢東さんが言うには、未成年の子どもの親は、子どもに教育を受けさせる義務がある。今は未成年だから、それでも学校をやめると言うのであれば、明日裁判所に行きましょう。

ふるえながらドアのところに立つて、殴られると思つたのです。それでも言うしかないと思つたのです、言いましたら、予想もしなかったのですが、二人が黙り込んでしまいました。学校をやめるとか言わなくなつたのです。これが私の大きい何かチャレンジだったのです。親に対してあんなことを言えるというのはチャレンジだったのです。

高校に入つたら今度は、大金持ちになつた両親は、「あなたが学校にいるのは、私たちの金がかかるから、学校を転校しなさい、やめなさい」と言ってくるのです。それで、高校3年間仕送りが足りなくて、夕飯は食べられませんでした。大富豪の娘が何でこんな体験をしなきゃいけないのだと思いました。次のチャレンジは、日本に行こうと思ひました。というのは、大連外国語大学で日本語を勉強していたのです。その当時ちょうどバブル期でした。日本はすごく経済が発展して、そのコツミみたいなものが必ずあるから、習に行きたい。将来、中国に戻つたら、中国で使えるのではないかと思ひました。でも、ずっと日本に住んでいるのね(笑い)。1988年は、今のように入国人と少なく、まず中国は、大學生だから、海外に留学させるのはとても無理なのです。それでも、こつちに無事に来られたのです。

早稲田大学に入學

大学は4年生のときにこつちに來ましたので、卒業証書を持っていませんでした。それで、こつちの大学でも一回スタートしなければいけなかつたです。その当時、早稲田に入れるとは全く思ひませんでした。まあ、どこかの大学に入れるかなと思ひていました。そうしたら、早稲田大学に入學でき、自分は弁護士になろうと。自分は女性だから、手に職を持ちたい。文科系では、弁護士は専門職だと思ひていたので、法律を勉強したのですね。

就職はうまくいかなかつたです。その当時、94年のとき、ちょうどバブルが弾けて、日本人でも就職できなかつた時代だったです。まして、外国人の女性の私がうまくいかなくて、結局、大学院に急遽方向を転換して、それもチャレンジして、うまく受かりました。受かつて、弁護士になれたのです。

東京エレベーターを 立ち上げ、弁護士にも

大学院のときに、東京エレベーターを立ち上げました。前は、三菱電機にいました。このエレベーター会社に1年間ぐらいいて、弁護士の資格を取りました。その後、上海の政府から助けてくださという話があつて、それで、私はこの



熱心に聞き入る会員の皆様

会社を作りました。

メーカーは部品を出さなかったのです。エレベーターは車と同じなのです。ただ、縦と横の乗り物。

ですから、私はその当時弁護士で、これは違うのではないか。これは独禁法に違反するのではないかなと思って、調べたら、公取委員会に、メーカーは立入検査を結構されました。でも、世の中の人には知らない。今もそう。今は、メーカー一辺倒の人がだいたい減っているのですが、「エレベーターはメーカー」

という安心感があるのです。それは、私が調べたら、これはただの独占です。要するに、商慣習になっているなと思いました。

そのときは、じゃ、日本で新しい文化をつくらうと思いました。だから、東京エレベーターを作りました。強みは、メーカーよりメンテナンスは3割ぐらい安く、コストダウンができるのです。今日も実は、5台くらい契約が取れたみたいですよ。ビルの中では、エレベーターのコストが一番高いです。リ

ニューアルもあるし、毎月支払わなければいけないですから。電気系です。リニューアルは、何年も前から、今は、シェアはすごく大きいですね。要するに、メーカーの45日に対して、東京エレベーターは5日か、長くて1週間から2週間ぐらいですね。費用も半額なのです。そういう意味では、このニーズが多いですね。現在、まだ小さい会社ですけども、外注、例えば遠いところとか、グループ会社でお互いに協力しているのです。どうしてもエリアがあるので、小さい1,000台ぐらいは管理しています。

マスクミが取り上げ、日経新聞に救われる

もう一つのチャレンジをしたのは、この新しい文化を日本で作ることです。それを作るには、私一人ではパワーが限られますので、マスクミの力を使おうと思いました。

たくさんの方々に知らせようと思いましたが、世の中に、ニーズが多いのに、メーカーはどんどん値上げしている、皆さんは苦しんでいるというのとはわかっていましたので、私は、人助けというか、この情報を知ってほしかったのです。『日経新聞』にニュースとして取り上げてくれればいいと思っていました。

ある広報会社の社長に相談しました。私はすごいニュースを持つ

ています。「ぜひとも手伝っていたきたい。20万円出すから」ってね。あの当時、20万は私にとってすごい大金でしたけど。社長は結構、人がよく「馬さん、あなたは弁護士だから。このニュースはいいかも。じゃあ、とりあえず手伝います、やってみます」って言うてくれました。直ぐ、とんとん拍子に取材のオファーが来ました。取材したら、1週間後に全国版にこれが出たのです。ニュースで、広告じゃないのです。そうしたら、今まで誰も電話してくれないのに、全国から電話が殺到しました。車のマツダとか、日本生命とか、いろいろなところから電話がかかってきて「見積を取りに来てほしい」と言われました。

『日経新聞』は東京エレベーターを救ったし、しかも、これを読む方は経済界を引っ張っている方です。で、それで浸透して、徐々に今は、逆に、金額は安過ぎる会社も出てきて、非常に困っています。だから、競争がすごく激しくなっている業界になりました。私はその達成感がありました。自分の会社は、そこそこ、発展すればいいと思っていたのです。だから、人に知らせて人のお役に立てばうれしいのです。今考えれば、もつと馬力を出して、ガッツと市場を取りに行けばよかったのですが、ああ、私の夢はちょっとだけですが実現し

たと思いました。

2015年に、また『日経新聞』にニュースを出したのは、油圧式エレベーターは、全国で20万台ぐらいあるらしくて、それが、メーカーが油圧から油圧にリニューアルしないようになっていました。コストが本当は600万とか700万ぐらいでもできたのに、今度、2,400〜2,500万出さないとリニューアルできない時代になっていて、もし、うちができるなら、これは一つのチャンスだなと思って、いろいろ研究して、うちは今、これがメインになっています。だから、オーナーさんがいる管理会社さんが、うちの情報とか、誰かの紹介ですね。見積を出したら、金額は半額で、質もよくて、節電にもなるし、乗り心地もいいし、工期も5日間とか1週間。だから、こつちを自然に選んでくれるのです。これはすごく伸びています。

啓蒙活動、「新生アジア」を通して

私が思うのは、ボランティア、要するに、啓蒙活動です。人って、人生には問題がない人は一人もいないです。皆さん方の一人一人、問題があつたとしても、明るく、前向きに考えるだけで、私なら大丈夫だと思います。それには不思議な話です。そのような啓蒙活動を、私は新生ア

ては、私はとても感謝しています。私のひいおじいちゃん（曾祖父）は貿易商で、人力の船で長崎県に豚と大豆とかを運んでいたのです。帰りに蓄音機1つだけ（笑）持ち帰り、中国でコンサートをやった人らしいです。

北崎昭子（会員）さんとすぐ仲良くなりましてね、これも本がきっかけです。去年、風揚げ大会でなぜか、昔からの長崎県の多くの友人と出会いました。びつくりしました。牧山康敏（常務理事）さんもそうでした。何年も前からお世話になりました。講演もさせていただき、CDに録音された私の話を聴いてくださった会社のオーナーが、エレベーターのメンテナンスをうちの会社に取り換えてくれました（笑い）。今日は、本当に忙しい中をここまで来ていただいたて、話を聴いていただき、本当にありがとうございました。（拍手）

❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ **イベント予告** ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖ ❖

超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

- * 超音波洗浄器製造一筋 創業1965年
- * 医科・歯科・理化・工業・宝飾等
多方面の業界において活躍
- * 硝子器具・手術器具・機械部品等
あらゆる分野の精密洗浄に最適
- * 全80種類の標準製品を在庫

ひと

長崎県東京事務所長 本田 和人氏

長崎県の情報発信と情報のフィードバックが柱
「人生は楽しく仕事も遊びも楽しく」を信条

に対する陳情や情報発信、首都圏の皆さんに長崎の魅力を伝えること。2つ目は国が行おうとする施策や首都圏の情報、ニーズをいち早くキャッチして長崎にフィードバックすること」だと定義する。

5年振り、2度目の東京勤務。しかし今回は所長として最高責任者の重責を担う。「仕事の面では今回は前回と全く違う内容なので不慣れな点はある」と責務の重みを実感する。長崎県の情報を首都圏にどう発信し、同時に全国の情報をも県に如何にフィードバックするか、手腕に期待がかかる。ジャズ鑑賞が趣味で快活な人柄だ。

県内市町や関係団体の東京における活動をサポートすること、我々の業務としてしっかり認識して総合力を発揮しながら成果を出す必要がある」との言葉に熱を込める。前回の東京勤務は2011年から広報担当次長として3年間、都内の大手マスメディア等を活用して県の魅力をPRし、観光客誘致や県産品のブランド化等に務めた。

長崎ファンを育てる努力
「日本橋 長崎館」開設

東京事務所内にある長崎県観光物産センターと連携して旅行会社

やマスメディアを通じた観光客誘致、更に東京のデパートやスーパー、ホテル・レストラン等での長崎フェア開催のサポートは今も重要な仕事だ。「長崎を知ってもらい多くの長崎ファンを育てる」との意識をもって行動する。

2016年3月に都心に開店して昨年3月に大幅リニューアルした長崎県のアンテナショップ「日本橋 長崎館」。東京勤務から県庁に戻った2014年に文化国際観光物産ブランド推進課長に就任した本田さんが手掛けたのが東京にアンテナショップを開設することだった。拠点づくりの狙いやコンセプト、それを実現するための規模、場所、業者の選定方法などの企画・立案に携わる。首都圏の人が求めるニーズは何か。地元振興のためにどうすれば役立つかなど。県産品の展示・販売だけでなく店内にオープン・スペースを設けて試食試飲会や文化・観光セミナー、地元生産者らのデモンストラクションが出来るよう工夫したのも特徴だ。「3年経って長崎館の認知度もあがっている」という。

本田さんは大村市竹松地区出身で、1960年生まれ。父親は高校の教師で転勤が多く、本田さんも佐世保市立春日小学校に入

学、2・5年生は大瀬戸町立瀬戸小学校、6年生は大村市立竹松小学校など転校続き。そして大村市立郡中学校を経て県立大村高校に。広島大学法学部に進み1984年卒業と同時に県庁に就職。広島大学法学部入学は「法律関係に興味があったのと、九州を出たかった」のが動機とか。大学で行政法等を学んだ関係もあり県庁に。最初の配属先が土木部河川課。「河川管理の仕事は土地の境界や訴訟など法律に基づいて許可可する事例が多く、大学の勉強は大変役立った」という。その後、高田勇知事のもとで秘書課に2年務めたことも。経済部観光課では1991年の雲仙普賢岳の爆発に伴う「風評被害の払しょくに苦慮した」経験も。2000年から5年間の福岡事務所では「物産振興と企業誘致が主な仕事」だ。特に企業誘致では半導体関連や自動車産業が中国に進出するなど「暗黒の時代」と振り返る。しかし「県外から長崎を見る上でも勉強になった」という。観光、物産、広報など営業系の担当が19年間と長い。

「スポーツ観光」の必要痛感
トップチームの合宿誘致等

2008年から3年間の文化ス

ポーツ振興部県民スポーツ課では県民の健康体力づくりやスポーツを通じて交流人口の拡大を図る政策を推進する。当時九州リーグだったサッカークラブ/V・ファールン長崎(小嶺社長)のJリーグへの昇格を目指す。プロ野球公式戦やサッカー、バスケットボールチームなどの強化合宿の長崎誘致などに取り組む。昨年は2度目のスポーツ振興課で東京オリンピックに向けた事前キャンプ誘致や聖火リレーの準備などにも携わった。所員に期待することは「自分たちの行動が実際にどういう成果につながっているかを常に意識してもらいたい。そうすれば仕事も楽しく出来る」と語り、そのプロセスも評価していく考えを示した。

人生訓「楽しく生きる」
趣味のジャズ鑑賞40年

人生訓は「人生を楽しく生き、仕事も遊びも楽しく」。中学、高校時代(1年間)は器械体操に打ち込む。「逆立ちは今でもできますよ」。趣味は学生時代から40年間鑑賞するモダンジャズ。特にマイルス・デイビス、ビル・エバンスなどのファン。最近では学生時代に流行ったフュージョンも聴き直している。夢は「学生時代のようにまたギターを弾けるようになりたい」。(聞き手・牧山康敏 撮影・内堀勝之)

ESSAY

「私と富士山」

東京対馬会 会長 糸瀬 敬一

私と登山? あまりピンとこない方も多いと思われます。冬山登山とか北アルプス縦走などアルピニストではないのですがなぜか富士山にはまっています。

山頂でトランペット演奏

富士山との出会いは今から32年前、1988年の8月8日、年齢が34歳の時に遡ります。当時、歌手で建築家のすがはらやすのり氏(故人)が「世界平和を富士山の頂上から呼びかけよう! 8月8日を『地球歌の日』に制定しよう」と呼びかけ、「山頂でコンサートをやるので楽器ができる者はなんでもいいので集まれ!」との掛け声に、私もトランペットを担いで山頂での演奏に参加しました。対

馬の中学・高校の吹奏楽部と就職先の会社でバンドをやっていたくらいで無謀にもトランペットを富士山頂で演奏しようとは若気の至りとは言えなんと恥知らずのことか。すがはらやすのりさんの歌のバックバンドに加えていただき演奏するのですが3千メートルを超える高度で酸素も薄く、酸欠で頭の中は真っ白になりながら演奏しました。その模様はテレビ局のキヤスターも同行し、某キー局の番組にも取り上げられました。(写真の中央が私)

そんな経緯から2011年57歳の時、もう一度富士山に登りたい、できれば還暦まで登り続けようという一念発起。30代の頃は今のような装備もなく、ろくなトレーニ



プリンスロード



富士山山頂にて筆者

ングもせず、トランペットをケースに入れて担ぎ登れたのですが、50代後半での富士登山は体力の限界に達する過酷なものでした。あらためて富士の尊さ、偉大さ、自分の力のなさを認識させられました。以来毎年8月の初めの土・日曜日に登っています。最近は一人で登っていましたが、2018年は富士山が初登山という職場の仲間と一緒に「富士登山隊」を結成し、静岡県富士宮5合目から宝永火口を経て御殿場ルート(6合目から山頂を目指す「プリンスルート」(天皇が2008年に皇太子当時に登頂されたルート)での登山を計画しました(プリンスルートの図)。



地球歌の日

開始。8時過ぎに登頂し、お鉢巡りも他のグループと逆方向での3776メートルの剣が峰登頂など混んだルートを避け山頂を目指したため土・日曜日の日程にもかかわらずスムーズに登頂。下山は「富士登山駅伝」の復路で有名な「大砂走り」を経験。シニア登山隊?も夕暮れまでかかりましたが無事御殿場五合目まで下山。今年(2019年)は9回目の登山になります。毎年五合目に来て、「なんで来たんだろう」と自問自答しながら登り始め、山頂付近では喘ぎながらの登頂ですが、登り切った達成感は何とも言えず、普段からのたるみ切った体を引き締めてくれるように感じます。さて、今年もそろそろ高尾山とか丹沢などの近くの山でのトレッキングもやりながらまた楽しい富士登山を計画したいと思います。

水とともに輝く



三輝工業株式会社

代表 木戸 紀雄

(長崎市出身)

URL <http://www.sanki-kogyo.com>本社
〒103-0004佐倉工場
〒285-0812千葉工場
〒289-1107千葉事業所
〒290-0057東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03 (3667) 3041 [代] FAX03 (3667) 8268
E-mail: info@sanki-kogyo.com千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043 (481) 2101 [代] FAX043 (481) 2102千葉県八街市八街は 1-59
☎043 (443) 9711 [代] FAX043 (443) 9884千葉県市原市五井金杉 1-7-2 相川ビル
☎0436 (37) 3203 FAX0436 (37) 3204

新 任 理 事 ご 挨拶

神田 健一



北松浦郡福島町(現・松浦市)で中学2年生まで過ごして昭和35年東京に転居、それから60年の歳月が流れました。上京後は故郷に帰る機会はまだで、かつ同郷の人々との交流もごくわずかに過ごしていました。が、それでも「ご出身は」と聞かれるといつも「長崎県福島町」と答えてきたのは、幼少期の記憶がいつまでも根っこに住みついて

万谷 正



私は第48回定時総会にて理事に推薦された万谷正です。昭和42年壱岐高等学校、46年福岡大学商学部を卒業し、上京しました。当時、社員数1000人の鉄鋼用化学薬品の会社に入社しました。同じビルの中に非鉄、メッキ、鋳鉄等の外国との合弁会社と商事部門あわせて7社あり、32名の大卒は3〜5名各社に振り分けられ、社長が五島出

いるからでしょう。

およそ10年前に東京三多摩地区の大学校友会に初めて参加した折に、県人クラブの松山常務理事と同席になり、お誘いをいただいたのをきっかけに県人クラブに加入させていただき出席率50%で推移してきました。これまでは監事を仰せつかっていましたが今期から理事に指名されました。担当は本職と同じで会計担当です。

これまでのおよそ50年にわたり先輩諸氏のご努力により築いてこられた本クラブがこれからも永く発展できるように微力ながら健全経営の面からその一旦を担いたいと思います。また、私生活ではこれまで訪れる機会が少なかった長崎県の各地も巡ってみたいと考えています。皆様のご出身地のご自慢とご案内よろしくお願いいたします。

身との理由で非鉄部門の関係会社に配属されました。当時は仕事に追われ、高校同窓会・故郷会の存在さえ知らず、数十年故郷会等に参加したことがありませんでした。

転機は平成11年に会社の株を購入し独立したことで、その後、時間に少し余裕ができた壱岐同窓会に出席し、雪州会にも参加した次第です。昨年の10月の総会で2期4年の任期を満了し、東京壱岐雪州会会長を退任致しました。一昨年の東京壱岐雪州会100周年記念総会においては長崎県人クラブの方々にはご協力・ご指導を頂き約500人の参加者で盛況のうちに無事終了することができました。感謝申し上げます。

最後になりますが微力ではございますが務めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

岸川 悟



今回の総会で新理事に承認されました岸川です。県人クラブの会員になったのは平成25年です。元々県人会の役員を長くやっていることもあり、役員の方については、何人かは良く知っている方もいます。今回新理事になったのもこんな事情があったのではと思っています。

私は、西海市西海町出身で昭和29年生ま

大滝 理恵子



この度 第48回定時総会にて理事に選任されました大滝理恵子でございます。私は佐世保市内で生まれ育ち佐世保南高等学校を卒業し東京の大学へと進学いたしました。大学在学中よりファッションモデルとしてお仕事をさせて頂き現在も現役で雑誌、CM広告、ファッションショーへ数多く出演しております。

れ65歳になります。古くから旧西彼杵郡会の在京事務局をやったり、県人会の地区役員をやったりと長年長崎県に關する在京者の皆さんには御付き合いをさせて頂いていきます。現在は関東西海市会の会長をやらせて頂き7年になります。

今回県人クラブの会員部会を担当することになりました。過去5年間の会員数の増減を見ると横ばいの状況で、良くやっているとありますが、どの会も会員数の減少に悩んでいます。微力ながら会員増に向けて努力するつもりです。今後ともみなさんのご協力をお願い致します。

長崎県佐世保市を離れちょうど40年目の節目の年に長崎県人クラブの理事に就任いたしました事は故郷 長崎 佐世保との繋がりをこれからも持ち続ける使命を頂いたと思っております。東京では佐世保南高等学校在京同窓会「東京柏葉会」の副会長を務めさせて頂き先輩、後輩と協力し母校を盛り上げております。年齢を重ねてまいりま

トピックス

最後は講話で聴いた「ノルウェイ」を実践し全員笑顔の集合写真撮影で終焉となりました。
(佐世保北高同窓会東京支部 事務局長 堀口清澄)



令和元年、最初の東京北星会 新入会員歓迎会が開催される

令和元年6月15日(土)13時から、東京北星会第6回新入会員歓迎会を新宿のヒズギントで行いました。関東近隣の大学に今年入学した学生新入会員を歓迎する隔年開催の会です。新人の71回生16名(約30名入学)、先輩学生会員と合せ33名、加えて来賓の71回生の恩師をお迎えし、9〜64回生までの一般会員57名と合計90名を超え、大盛況でした。

会の冒頭に新入会員にむけ3名の先輩会員が講話を行いました。懇親会では、学年副主任を務められた出雲孝先生の祝辞を頂き、歓談中のイベントの新入会員の自己紹介は、堂々としたもので圧巻でした。

席割りも新旧会員同席にする事で交流を図り、継続性のある同窓会活動につながっています。宴もたけなわになったところで参加者全員が肩寄せ合って校歌斉唱。

第48回定時総会開催

令和元年5月28日第48回定時総会を開催しました。第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案および第6号議案のすべての提案された議案は提案通り採択されました。理事の皆様を紹介します。

役員名簿 役員の氏名と出身地は次のとおりです。

理事長	山内 賢明	(吉崎市)
副理事長	今泉 弘人	(諫早市)
	原田 泳幸	(佐世保市)
	立石 公博	(吉崎市)
常務理事	藤島 満年	(長崎市)
	松山 政義	(長崎市)
	吉田 牧男	(佐世保市)
	牧山 康敏	(吉崎市)
	福田 俊男	(大村市)
	今村 勇雄	(五島市)
理事	本田 和人	(長崎県東京事務所) (新任)
	光武 恒人	(長崎市東京事務所)
	法村 輝也	(長崎新聞社) (新任)
	下田 智行	(長崎放送)
	辻 伊知郎	(テレビ長崎) (新任)
	高木 勇治	(長崎国際テレビ) (新任)
	平松 勲	(平戸市)
	小佐々 学	(大村市)
	福本 吉郎	(長崎市)
	井上 早苗	(長崎市)
	本田 武利	(諫早市)
	弓削 保彦	(長崎市)
	小柳 哲敬	(長崎市)
	内堀 勝之	(長崎市)
	木下 通人	(大村市)
	上野 實	(江迎町)
	古川 彌	(長崎市)
	玉木 國隆	(諫早市)
	柚原 治美	(対馬市)
	白石 光男	(吉崎市)
	芦刈 伸子	(佐世保市)
	里森 久由	(松浦市)
	宇田川太江子	(長崎市)
	北澤 道也	(長崎市)
	村田 輝夫	(長崎市)
	神田 健一	(松浦市) (新任)
	万谷 正	(吉崎市) (新任)
	岸川 悟	(西海市) (新任)
	大滝理恵子	(佐世保市) (新任)
監事	伊藤 六夫	(長崎市) (新任)

佐世保南高校東京同窓会 東京柏葉会 第29回総会開催される

令和元年6月29日(土)、東京柏葉会の「第29回総会・懇親会」が、「ホテルグランドパレス」(九段下)で開催されました。来賓を含む約250名に参加いただき、盛会のうちに会を終了することができました。

プログラムに沿って、総会、講演会、懇親会の順に進行され、総会では役員改選中間ではありますが、事務局長を金氏政徳25回生より緒方千草(26回生)に引継ぎしました。

今年の講演会は趣向を変え、同窓生で若手の落語家として活躍している61回生の三遊亭らっ好(本名 井芹洋平)氏による故郷である佐世保の話題を盛り込んだ小話から本格的落語まで演じて頂きました。東京柏

葉会における卒業生講演会は他校にない佐世保南高校の特色として毎年行っている企画です。

懇親会では、80歳になられる10回生の先輩方への「長寿のお祝い」、多くの企業に協賛いただいた「福引」は、佐世保の名品に加え、ワシントンホテル賞、白山陶器賞など豪華景品も当たり、皆が一喜一憂いたしました。在校生の活躍を支援する「東京柏葉会賞」の賛助金も多くご協力いただき、バザーの売上も好調で完売となりました。

最後は、応援歌と、平副会長のリードで「明日があるさ」を合唱してクライマックスを迎え、参加者全員での大集合写真撮影後に閉会いたしました。次回は、2020年6月27日(土)の開催予定です。

(東京柏葉会 会長 池田康人)

平成最後の「長崎ハタ揚げ大会」2600人

恒例の長崎ビードロ会主催の第58回「長崎ハタ揚げ大会」が平成から令和に代わる2日前の4月29日の昭和の日に大田区多摩川緑地区民広場で開催されました。昨年は会場の都合で1日前の28日土曜日に開催されたため参加者が減りました。

今年は10連休で参加人数を心配しましたが昨年より800名増の約2,600名の参加になりました。今春は天候が不安定で実施が心配されましたがジメジメと晴れ、若干、気温が低いものの絶好の風が吹きハタ揚げ日和になりました。

今年も地元大田区長はじめ自治会の役員の方々、大田区民、在京県人会の皆様にも多数ご来場いただきました。藤島会長、大田区長の挨拶。恒例の子供たちへの一銭風呂の無料配布「龍踊り」「腹話術」ちゃんぽん・



会場



ハタの販売



地元ケーブルテレビ局の取材を受ける長崎ビードロ会の藤島会長



ハタを完成させる子供たち

皿うどん・浜勝とんかつ・角煮饅頭の販売。今年から長崎商工会の協賛で県内の特産品の販売があり充実された物販で参加者からは大変好評いただきました。観光と物産のPRと参加者の懇親がこの大会の主目的であり達成できたものと考えております。

芝生の上での大宴会？は例年通りでしたが今年は風もあり沢山のハタが上がっていました。近年はマスコミ取材も増え、今年は大田区の写真ニュースにも取り上げられました。

これからも参加者に喜ばれるよう内容充実に努めていきたい。最後に開催にあたり、ご協賛各社、ご参加の県人会、ビードロ会の皆様に心から紙面を借りて御礼申し上げます。また、最近社会問題になっているゴミの回収、分別にも大変ご協力にいただきました。

来年も県人クラブの皆様のご参加をお待ちしております。

(長崎ビードロ会幹事長 中西俊雄)

全国綱引選手権25回連続出場 玄海酒造チーム決勝進出は逃す



祝賀会の参加者

なる。全国の強豪が集う選手権だけに1勝するのも簡単ではない。玄海酒造チームは第1戦で広島県代表に快勝。続く滋賀の大津チームにはじっくり攻めて勝ち、応援席は万歳で盛り上がる。しかし結局3勝2敗でベスト16に終わり決勝進出はならず涙を呑む。それでも「玄岐魂ここにあり！」の存在感を示しました。

記念祝賀会で玄海酒造の山内賢明会長（長崎県人クラブ理事長）は大勢の応援に感謝すると同時に選手をねぎらい「今年は決勝トーナメントには進めなかったが、この悔しきは必ず来年以降につながる」と挨拶し、早くも来年への決意表明。パーティーは鏡開きや各選手の紹介など賑やかで、親交を深め大いに盛り上がりました。

(東京玄岐雪州会名誉会長 牧山康敏)

長崎県代表として25回連続出場の玄岐玄海酒造綱引クラブは3月3日、東京・駒澤オリンピック公園体育館での全日本綱引選手権大会で3勝2敗と善戦したものの残念ながら3年連続4回目の決勝トーナメント進出は逃しました。会場では東京玄岐雪州会や長崎県人クラブ関係者ら100人超の応援団が熱心に応援。25回連続出場はチームが初めてです。

競技終了後は品川区の品川プリンスホテルで100人が参加して「25年連続全日本選手権大会出場記念祝賀会」が開かれ、選手の健闘を称えました。

競技には男子49チーム、女子32チームが参加。予選リーグは1試合で決着。5試合で4勝以上すれば決勝トーナメント進出と



祝賀会の鏡開き



応援団

トピックス

長崎へのお帰りの際には 日本橋長崎館をご活用ください！

皆さまには日頃から日本橋長崎館の物産販売や飲食コーナーをご愛顧いただきありがとうございます。

深いものとなるようお手伝いいたします。「おかげさまで楽しい旅だったよ」などの嬉しいお礼の言葉も数多く頂戴しています。

ところで当館には観光案内ゾーンもあることをご存知ですか？県内各地の観光パンフレットや、多彩な映像で長崎県の魅力を発信しているほか、「旅の案内人」が、あなたの知らない最新の観光情報や隠れた観光名所を紹介するなど、皆さまの長崎への旅が思い出

せんか。(長崎県東京事務所 観光物産センター係長 辻英世)



日本橋長崎館

所在地：東京都中央区日本橋アーバンネット日本橋二丁目ビル1階
営業時間：10:00～20:00／年中無休（年末年始・ビル施設点検日等除く）
観光案内コーナー：10:00～13:00、14:00～17:45
TEL.03-6262-5352（ショップ）TEL.03-3241-1777（観光案内）

第9回 おたくさの会

女子会



講話する神宮さん

令和元年6月5日第9回女子会を開きました。今回のおたくさの会は、元ANAキャビンアテンダントの神宮律子さんをお呼びし「心のバリアフリーに向けた実践」についての勉強会です。心のバリアフリーとは障害のある人に対する社会の偏見や差別をなくし、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、支えあうことだそうです。

お手伝いの基本は同情からではなく共感することが必要で、高齢者や目の不自由な方への対応も相手の立場を理解することが大事だということ。例えば、白杖を持った方のお手伝いをしようと、いきなり相手の肩や手に触れることは、相手をびっくりさせます。こちらがやつてあげようとする行

為を先ず言葉で言ってあげなくてはならないのです。声がけすることと必ず気持ちを通じ合えるそうです。高齢者は高音が聞こえづらく甲高い声で名前を呼ばれても全く聞こえませんが、低い声でこそ悪口を言われると、しつかり聞こえているとの事。どつきりな話ですね。

神宮律子さん、参考になるお話をありがとうございました。恒例のワインパーティーも大勢の方に集まって頂いたお陰で、大変盛り上がり話に花が咲きました。

(会員 大崎京子)



華やかに 新年賀詞交歓会開催

長崎県人クラブは、平成31年1月24日、ホテルオークラ東京で新年賀詞交歓会を開催しました。89名の方々が参加されました。オーブニングセレモニーとして藤間虹さん、藤間富公彌（眞崎彌壽子会員）さんが日本舞踊を披露され、新年らしい雰囲気でした。ゲストは純心高校出身の上奥まいこさんでした。



歌う上奥まいこさん



日本舞踊を披露する藤間虹さんと藤間富公彌（眞崎彌壽子会員）さん

賑やかに彦岐高東京同窓会 母校創立110周年迎えて

第28回彦岐高東京同窓会総会及び懇親会が令和元年6月9日正午から、浅草のレストランアラスカ吾妻橋店(アサヒグループ本社ビル21階)で、43名が参加して賑やかに開かれました。

彦岐高校から平山啓一校長先生にご出席いただきました。平山校長先生からは、現役生徒の活躍ぶりとともに、彦岐高校が前身の旧制彦岐中学時代を含めて今年11月創立110周年を迎えるにあたり、その記念事業等についてのご紹介

がありました。

また、在京の旧制彦岐中学の出身者たちの母校に対する思いから、彦岐高東京同窓会が生まれた経緯について、山内賢明・当会第2代会長(長崎県人クラブ理事長)からご紹介いただきました。

懇親会は、江田和夫彦岐高同窓会会長による「彦岐焼酎で乾杯」のご発声で始まり、賑やかに会員相互の親睦が盛り上がりしました。浅草の街、隅田川を一望できる眺望のよい会場でした。令和の時代も



在京の彦岐高同窓生の集いが更に活発化するよう、回を重ねていきたいと考えています。
(彦岐高東京同窓会会長 白石光男)

第53回関東口加会

かんとうこうかかい

関東口加会とは長崎県立口加高等学校関東地区同窓会であり、今年で第53回を迎える県下でも歴史のある同窓会です。因みに母校の口加高校は明治35年(1902年)の設立で今年117年となります。

今年の関東口加会は6月16日(日)霞が関ビル35階「東海大学校友会館」で開催され、参加数は100名。今年の目玉はスクー

ルのポロシャツ(母校制作)を着用した「オレンジ大会」と銘打ち、母校のPRも兼ねた会となりました。また、ポロシャツ、タオル、トートバックなどの販売を実施したところ飛ぶように売れていました。地元(南島原市)の口之津町や加津佐町ではポロシャツを着て歩いたりタオルを身に付けたりと街中がオレンジ一色だとか(笑)。まさにオレンジ軍団で街中が活性化しています。



今年の母校の新生は107名。昨年より37名増加。定員充足率も90%となり大幅に改善されています。HPも県下で一番と言われるくらい情報発信しており、街中にオレンジの横断幕を6か所配置し

(関東口加会会長 平野康博)

令和元年度 東京対馬会総会模様



級魚をYouTubeを活用して島外へも産地直送体制を築いているとの報告で、参加者から「食べたい」の声があがっていた。

懇親会は 中嶋和子理事の進行。来賓挨拶として比田勝尚喜対馬市長より、最近の対馬の近況として 移住者が増加傾向にあり、外国人観光客も40万人を超えたことなどが報告された。小川廣康対馬市議会議長の乾杯の挨拶の後、山内賢明長崎県人会会長(彦岐)より、「対馬と彦岐は過去も今後も深い絆と縁」とのエールで懇親会がスタートした。また宗中正氏からは、宗武志氏の詩集「海峡」を手にかざしながら「磯には温かみがあり、人間につながるものがある」と武志氏の青年期の対馬居住の印象を紹介された。

親睦の輪が広がるなか、閉会挨拶は 柚原治美副会長より、来年の再会約束の呼びかけを行い、土産のかすまきを手に散会となった。
(東京対馬会理事 内野武夫)



今回は特別企画として、講演会を開催。講師は真心水産 早田真路代表(上県町出身)。早田氏は平成31年2月開催の「全国青年・女性漁業者交流大会で、水産庁長官賞を受賞されている。内容は、のどぐろ・あかむつなどの対馬産の高

諫早商業 北斗会関東支部の総会・懇親会

令和元年度諫早商業北斗会関東支部の総会・懇親会を令和元年5月18日(土)四ツ谷「隠れ岩松」で開催いたしました。

母校から山本校長先生、蔭山勇同窓会会長、平松則男同副会長長相浦喜代子同副会長、平野吉隆事務局長をお迎えし昨年より多い46名が集いました。

同窓会本部相浦副会長による乾杯の音頭で懇親会が始まりました。山本校長先生から母校の近況報告

があり、学校初の快挙として全国商業高校協会検定9種目で1級に合格し9冠を達成した卒業生の話がありました。この会は上京する

新卒者の歓迎会と総会をあわせる意味合いもあり、平成31年の卒業生が6名出席し、就職や進学など次のステージではばたく後輩達にエールを送りました。余興では相浦副会長の指導による「皿踊り」を行い、懇親会を盛り上げました。最後に「高校三年生」を全員で合唱



し来年の再会を誓いました。

今回の記念撮影は諫早商業北斗会関東支部のホームページにアップしております。来年の総会も5月に同会場で実施する予定です。

(幹事 田平義彦)

長崎南高校関東同窓会総会・懇親会 「気魄と情熱」で盛会

長崎南高校関東同窓会は令和元年7月13日(土曜日)に日比谷公園の日本プレスセンタービル10階にあるレストラン「アラスカ」で総会

及び懇親会を開催いたしました。約120名の来賓と同窓生が集まり賑やかな会がスタートしました。

長崎市役所、日本橋長崎館の協力を得て会場内は長崎の雰囲気一色になり長崎への郷愁が一層深まったのではないのでしょうか？ 同窓生である田上長崎市長からのビ

デオメッセーじも届いて、長崎がまた一歩近づいたのではないのでしょうか？

長崎南高校はもうすぐ創立60周年を迎えるにあたり準備が始まっているようです。その始めに「手拭い」が作成されて全員に記念品として配布されました。南高校のタイトル「気魄と情熱」が大きく描かれていていろいろな高校生活が呼び起こされたのではないのでしょうか？

第69回令和元年度 猶興館東京同窓会総会・懇親会が盛大に

猶興館東京同窓会総会・懇親会は、5月25日(土)新橋の第一ホテル東京で200名を超える出席者で盛大に開催されました。同窓会

本部、母校校長、平戸高、松浦高、東京柏葉会、東京北星会、大村高、東京・平戸北松会、東京寺岐雪州会の皆様にご来賓としてご出席いただきました。

総会では、本部末吉幸徳会長の祝辞がありました。

渡邊研三校長先生の母校近況報告では、国公立大学の合格者増、佐志岳自然観察実習での平戸島固有種「イトラッキョウ」観察、オランダ交換留学、中国上海の中学校との国際交流会等がありました。議事では、平成30年度会務・決算・監査報告、令和元年度活動方針・予算報告があり総会を終了しました。

懇親会に移り、乾杯のあと料理に舌鼓を打ちながら、次第に旧交を温める和やかな雰囲気会場全体が包まれていきました。

そして、会場にV・ファアレン長崎高田明社長からのビデオメッ

セージが流されて飲みの声があがり、ステージの側には贈られたお花スタンドが飾られています。ステージでは、初めての企画で傘寿以上の出席者の方々に記念品贈呈があり、全員感激の面持ちで喜びに溢れていました。その後、東京消防庁職員の本格的な三線演奏とエイサーの踊りが会場を沸かせました。

恒例の「ふるさと賞品大抽選会」が行われ、超目玉の「特選平戸牛」をお二人の方が射止め会場に歓声があがっていました。最後に東京中に響き渡るような猶興館高校校歌の大合唱及び猶興エールで閉宴になりました。

母校猶興館高校は、松浦詮公の明治13年(1880年)猶興書院開

校に始まり、来年創立140周年を迎えます。一方、猶興館東京同窓会は、昭和26年に発足し、来年総会・懇親会も節目の70回を迎えます。母校も同窓会も諸先輩のご努力で長い歴史と伝統に満ちています。これからも「猶興の輪、猶興の絆」を大切に次の世代につなげていきたいと思えます。

最後に、令和元年の総会・懇親会も昭和・平成の御代と変わらなず盛会に終わり、ご出席のご来賓・同窓生の皆様に心から厚く御礼申し上げます。今後ともこれまで同様ご支援ご協力をお願い致します。(猶興館東京同窓会会長 増山義也)



来年の総会及び懇親会の幹事も紹介されました。「来年も皆さん元気で会いましょう」を合言葉にして盛会の内に閉会する事が出来ました。(事務局 前田幸司)

「まんが おおむら人物伝 石井筆子」

(制作委員会編、長崎新聞社刊)



幕末に生まれ、明治、大正、昭和の激動の時代を生きて、日本の近代化に貢献した大村市出身の女性、石井筆子の生涯を漫画で分かりやすくまとめた。筆子は大村藩を討幕へと導いた大村藩勤王三十七士の一人、渡辺清を父に、渡辺昇(のぼり)を叔父

に持つ。西洋文化に触れて育ち、日本でも男女が平等に教育を受けられる未来を夢みた。青年期にはヨーロッパ留学経験を生かし、政府が新設した華族女学校の講師を務めるなど女性教育の推進に活躍。後の大正天皇の皇后となられる九条節子さまに語学を教えたことも。新五千円札の顔として注目を集めている津田梅子の盟友でもあった。生まれた子どもに障がいがあったことなどをきっかけに、知的障がい児教育に力を注ぐようになり、後に渋谷栄一(こちらは新一万円札)が理事長を務める滝乃川学園で、夫である亮とともに尽力した。本書は大村市文化・スポーツ振興財団より委託を受け、郷土の歴史的人物に関する教育資料として制作。大村市内の小中学校をはじめとする教育関連施設に配本した。

(B6判、128ページ。非売品)

「『焼き場に立つ少年』は何処へ」

(吉岡栄二郎著、長崎新聞社刊)



原爆写真「焼き場に立つ少年」の謎に迫ったルポルタージュ。初版は2013年だが、増刷を重ねている。2018年にはローマ法王がこの写真の配布を指示したことで話題になった。写真はアメリカの記録映像作家、ジョー・オダネル氏による

もの。亡くなった弟を背負い、焼き場へ現れた「少年」。オダネル氏は、直立不動で前を向き、唇を結んで涙をこらえる少年の姿に強く胸を打たれたという。写真が世間の目に触れたのは戦後、半世紀ほどの空白を経てから。2007年当時、大きな反響を呼んだ。その中で「撮影場所が長崎であるかどうか疑わしい」との声が上がった。写真がふたたび眠りにつくのをおそれた著者は、真実を求めて調査に乗り出した。オダネル氏の記憶と、当時の長崎を知る人たちの証言を照らし合わせていく。5年間にわたる調査を経て、著者がたどり着いた結論とは。出典資料として、オダネル氏が写真を発表することになった経緯や、少年と出会った時の状況について記した出典箇所を転載。

(四六判、144ページ。税別1100円)

終活のための保険

こんな方にオススメな保険です

- ✓ 家族にお葬式費用の負担を掛けたくない。
- ✓ 高齢のため加入できる保険がない。
- ✓ 病気で保険の加入を断られた。
- ✓ 医師の診査を受けるのは面倒。
- ✓ 保険料をできるだけ抑えたい。

■ 無配当1年定期保険(保険金建)

保険金100万の場合

65歳女性 保険料
年に1回11,080円をお支払

月々換算 約924円

65歳男性 保険料
年に1回25,450円をお支払

月々換算 約2,121円

☎ 0120-244-888

[受付時間] 平日 9:00 ~ 17:00(土・日・祝を除く)

引受保険会社：メモリード・ライフ
 関東財務局長(少額短期保険) 第18号
 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-8-16 平田ビル6階
 Tel: 03-3233-0211 代表 承認番号：MLAD1812-19



栃木工場



東京本社が入っているビル

非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 **ファウンテック**

代表取締役 **万 谷 正**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL **03-5218-8291** FAX **03-3214-8091**

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail fountec@fountec.co.jp

営業所： 東 京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル
 名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F
 大 阪 大阪市淀川区西中島5-2-5 中島第2ビル408
 九 州 福岡市博多区博多駅東3-1-29 博多第2ムカキビル2F
 技術部： 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F
 栃木研究室： 栃木県鹿沼市茂呂778-1
 工 場： 奈 良 奈良県御所市室493
 栃 木 栃木県鹿沼市茂呂778-1
 海外連絡事務所：中国（上海、青島）、タイ（バンコク）、
 ベトナム（ハノイ・ホーチミン）

おくやみ 光安一夫さんを偲ぶ

県人クラブの健全化等に尽力

長崎県人クラブの理事長代行・光安一夫さんが今年3月30日ご逝去され、深い悲しみを禁じえません。

2011年、前理事長の田崎俊作さんがご逝去されて、理事長が空白になった際、光安副理事長を理事長代行にお願いできればと思い、松山常務理事と私の2人で、三鷹のご自宅にお伺い致しました。早速、理事長代行の就任をお願いしましたところ、「私の任にあらずと強く辞退される。そこで何とかお願い致しますと説得すること4時間、粘りに粘りました。すると光安さん曰く「あんたちはしつこいばい、しょうなか、代行を引き受けましょう」と言って下さいました。

光安さんは、旧制長崎中学の63回生、長崎東高4回生。日本歯科大学卒業後は神田で歯科医院を開業。その後、日本歯科医師会専務理事として長年務められるなど活躍されています。長崎県関係では、長崎ビードロ会のハタ揚げ大会の実行委員長としてご奮闘されました。長崎県人クラブの宮崎輝理事長亡き後、多難な時代にあつたクラブの健全化に貢献され、また県人会でのご尽力等バイタリティー溢れる活動力は素晴らしい限りでした。光安さんは、長崎人特有の優しさと内に秘めた厳しさが内在するようなお人柄でした。そして誰にでも分け隔てなく対応されるお姿が目につかびます。どうか安らかに眠り下さい。合掌。

(長崎県人クラブ常務理事事務局長 藤島満年)

長崎東高在京同窓会創設にも尽力

光安一夫先輩は、旧制長崎中学の63回生、新設の長崎東高の4回生で、昭和23年に創部された東高ラグビー部の当初メンバーとして文武両道の活躍をされました。昭和27年東高卒業、家業の歯科医師となるべく日本歯科大で刻苦勉強、卒業後神田で開業、その後三鷹に移られるも、日本歯科大・日本歯科医師会の各役員として、歯科医師会に多大な貢献をされました。

一方、長崎東高在京同窓会の創設にご尽力され、ラグビー部OB会での後輩への面倒見の良さは、定評あるところでした。又、昭和46年発足の長崎県人クラブでは、今里広記初代理事長の片腕としてクラブ運営に携われ、近年は副理事長として多大なる貢献をされました。さらに、長崎市人会であるビードロ会においても創立以来、会の運営に貢献されるなど、長崎県出身者に限らぬ豊富な人脈をもとに、多くの組織やグループの活動・貢献には枚挙の暇がありません。生前お世話になりました後輩の一人として、茲に謹んで大先輩のご冥福をお祈り申し上げる次第です。

(長崎東高在京同窓会相談役 古川 彌)



◆土屋 尚徳(旧制佐世保中卒)さん 令和元年5月1日ご逝去

心からおくやみ申し上げます。

◆浜田 力(明豊興産)さん

心からおくやみ申し上げます。



私の趣味

「登山」

理事 柚原 治美

「長崎倶楽部55号」で「北アルプス剱岳」を紹介させて頂きました。

今回は、私の「登山日記」をひも解いて同じ北アルプス連峰の「薬師岳」と「黒部五郎岳」を紹介させていただきます。

「薬師岳」は富山市南東部に位置する標高2926mの山で、剱岳と立山と並ぶ飛驒山脈（北アルプス）立山連峰の主要峰です。中部山岳国立公園に指定されています。山頂には二等三角点が設定されており、点名は「薬師ヶ岳」、所在地は富山県富山市有峰。駒ヶ岳と同じように日本には薬師岳という山の名が多数あり、全国的に知名度

が高く、その最高峰がこの「薬師岳」です。

他方、「黒部五郎岳」は富山県富山市、岐阜県飛驒市・高山市にまたがる飛驒山脈の標高2840mの山で、別名「中の俣岳（なかのまただけ）」あるいは「鍋岳（なべだけ）」とも呼ばれます。「黒部五郎岳」は富山県側の名称で、「中の俣岳」は岐阜県側の古来の名称らしい。日本百名山および花の百名山に指定されています。山は花崗岩と閃緑岩（せんりよくがん）で構成され、山頂付近は、岩が重なった砂礫地です。人名のような山名ですが「五郎」は山の用語であるゴロ、

大きな石がゴロゴロした場所の山名語源、「黒部」は村の名前が由来とされているらしい。

この2つの山を2006年7月28日～31日、3泊4日の行程で友人と2人で踏破した記録です。

▼1日目「7月28日（金）」東京～富山。東京17時12分の北陸新幹線に乗り、富山に向かいました。20時44分富山駅に着く。この日は富山駅近くのビジネスホテルに宿泊。

▼2日目「7月29日（土）」4時50分起床、5時30分ホテル出発、コンビニでおにぎりなどの朝食を買い込み、駅前バスターミナル「折立」（おりたて）行きバスに乗り込む、乗客30人ぐらい。天気は曇っているが晴れ間もあり、蒸し暑い。6時定刻にバス出発。国道6号を「折立」に向け走行、6時50分ドライブインでトイレ休憩。7時バスは有

峰方面及び亀谷温泉方面へ向かって走行、この辺りから上り坂にかり、途中断崖絶壁の林道。7時45分バス終点「折立」に到着。8時「折立」登山口を出発（大勢登っている）。11時太郎平に着く、雨が降り出したので合羽着用。12時10分「太郎平小屋」到着（写真1）。30分程休憩し出発。12時40分～13時40分河原で昼食。14時10分「薬師岳山荘」通過。15時丁度「薬師岳」頂上に立つ（写真2）。15時15分下山開始。15時45分「薬師岳山荘」通過。16時50分「太郎平小屋」到着。ここで二泊目。17時45分夕食。缶ビールで乾杯。濡れたものは乾燥室で乾かす。20時就寝。

▼3日目「7月30日（日）」3時起床、出発準備（外は満天の星）。4時出発準備完了。朝食は5時からだが待ち遠しい。「立山山岳地方天気予報」曇りか霧、日中時々晴。5時朝食（さば煮、卵焼き2切れ、のり、じゃこ、大根・人参サラダ、ひじき、らっきょう、たくあん）。5時30分出発。7時「北の俣」（2661m）通過、7時35分「赤木岳」（2622m）通過。9時10分登りにかかり苦しい登り。9時55分、目的地「黒部五郎岳（2840m）」に立つ（眺望素晴らしい）（写真3）。15分程休んで下山開始。12時40分「北の俣」に通過。少し雲出るもほぼ晴天。16時30分バス停「折立」に到着しましたが、15時50分のバスに間に合

わず、マイカーの登山者に交渉して「有峰口駅」まで載せてもらいました。有峰口で電車に乗り19時02分富山駅に到着。ここでもう一泊。富山市内で慰労夕食。22時ホテルチェックインして宿泊。

▼4日目「7月31日（月）」4時30分起床。7時富山市内散歩。9時ホテル発。9時10分富山駅。駅の放送によると高架線を切る事故が発生し、復旧に2時間ぐらいかかるとの放送あり、待合室で待機することとなった。11時51分、代わりの列車のやりくりで、越後湯沢駅まで来ました。13時08分越後湯沢発の電車に乗り、15時無事帰宅しました。

今回の登山は、天気はあまり良くありませんでしたが、危険な岩場は無く、比較的楽な、景色を楽しみながらの登山でした。

写真1



写真2



写真3



暑中お見舞い申し上げます

会員デーのご案内

会員の親睦と情報交換の場のひとつとして会員デーを設けています。ご案内します。

日時	令和元年 9月11日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	北松・平戸
	令和元年10月 9日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	五島
	令和元年11月13日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	長崎
	令和元年12月 4日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	大村・東彼
	令和2年 1月 8日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	佐世保
	令和2年 2月12日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	西彼(西海)
	令和2年 3月11日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	壱岐・対馬
	令和2年 4月 8日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	長崎
	令和2年 5月13日(水) 午後6時～8時頃	担当地区	全般

場所：長崎県東京産業支援センター1階 会議室



モンドセレクション 18年連続受賞蔵

麦焼酎発祥の地「壱岐」



まつながやさぎえもんおう
松永安左エ門翁

720 ml (43度)



壱岐
オールド

720 ml (25度)



壱岐
スーパーゴールド22

720 ml (22度)

むぎ焼酎 **壱岐** 玄海酒造株式会社

本格麦焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

代表取締役社長 山内 昭人

代表取締役副社長 山内 博達

取締役会長 山内 賢明

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

壱岐麦焼酎

かめはだみ **山の守**

有限会社山の守酒造場



本格麦焼酎
1800 ml (25度)

◎お酒は20歳になってから。

代表取締役社長 山内 博達

代表取締役副会長 山内 昭人

取締役会長 山内 賢明

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触85 TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384